

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/27号

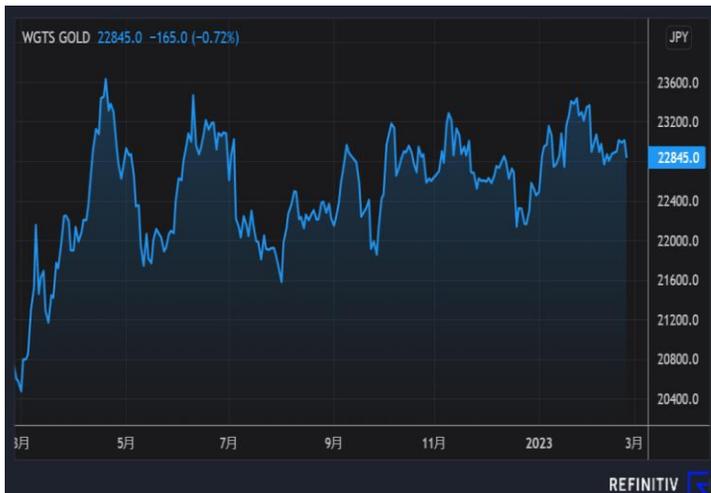
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ドル高と金利上昇が続きゴールド安値に

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



先週のこのレポートに書いたことがそのまま続いています。ドルと長期金利の上昇、そしてゴールドの頭が重たい展開。発表された2月のFOMC議事録も一部理事からは金利上げ幅を0.25%ではなく0.5%とするべきだとの意見も出ていたことがわかり、市場の印象よりもFRBははるかに「タカ派」であることが明らかになりました。それに加えて、1月の個人消費支出（PCE）が市場予想の4.3%アップに対して4.7%と「ホットな」数字が発表されました。これらにより政策金利はこれまでで5.1%程度が天井とみていた市場もその見方を変えつつあるようで、一部には6%を超えるのではないかとという見方が出始めてきています。昨年11月ごろから続いていた市場の楽観論がすべて打ち消されるという動きであり、年初の1830ドルから1965ドルまで上昇したゴールドも現在は1810ドルまで下げ、FRBの金利下げが今年にはほぼないと市場がもはや織り込んだ結果だと考えていいでしょう。問題はここからさらにゴールドが下げるのかどうか、というところでしょう。これだけ価格が下がったことで、中国ではSGE（上海黄金交易所）のLoco London Goldに対するプレミアムが35ドルまで上昇しており、それはつまり中国での現物買いが盛り上がっているということです。ロコ・ロンドン・アカウントからラージバーを引き出し、それを中国での標準品である99.99%のキロバーに鋳直して上海までに運ぶコストはせいぜい2ドルと考えるとこの35ドルのプレミアムがいかに異常ともいえる状況がよくわかると思います。これだけのドル高、そして金利高にも関わらずまだゴールドが1800ドルを保っているのは、こういった現物のバーゲンハンティングの買い、そしておそらくは中央銀行の買いも下値を支えている要因になっているのではないのでしょうか。この金融情勢のため頭が重たい状況は続きそうですが、下値は支えられるのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

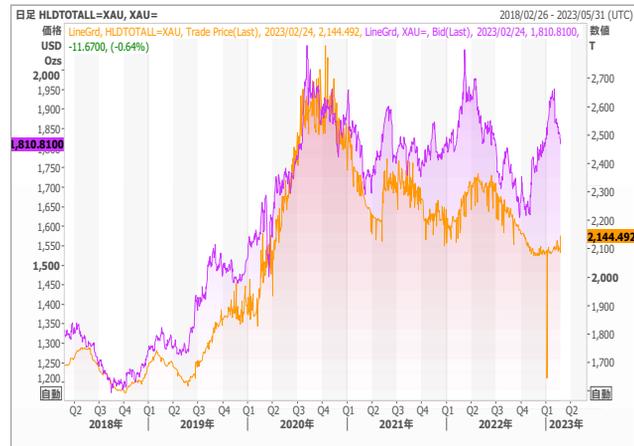
金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「LBMAの2023年相場予想」

今年1月18日を提出期限としたLBMAの2023年相場予想アンケートの内容が発表されました。今回はそれを紹介しましょう。参加したアナリストは30名。ちなみに私はその一人です。貴金属4メタルの中でゴールドとシルバーに関してアナリストたちは2022年よりも上昇を予想しています。平均値でゴールドは3.3%、シルバーは8.8%の上昇。逆に弱気予想はパラジウムで、12.5%の下落を予想しています。ゴールドを動かす要因としてアナリストの43%が上げたのが、米ドルとFRBの金融政策でした。それに続くのがインフレで14%、第3位は地政学リスクの11%でした。ゴールドの取引レンジ幅予想は、755ドル。2022年の実際の取引レンジは780ドルであったので、ほぼそれに近い予想となっています。2022年の実際の平均価格は1800.09ドルでしたが、2023年のアナリスト相場予想の平均値は1859.9ドルで3.3%高であり、実質的にそんなに動くと考えていないことがわかります。最も低い安値の予想は1594ドル、最も高い高値の予想は2025ドル。意外と冷静な予想であるというのが私の印象です。2023年年初は1830ドルから始まり、1960ドルまで上昇したあと2月23日現在の相場は1811ドル。

(ゴールドと200日平均線)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

